

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 見附市立新潟小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒954-0006
新潟県見附市新潟町2478番地

E-mail : mniigata@mitsuke-ngt.ed.jp

Website : <http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~mniigata/>

児童生徒数：男子 50 名 女子 43 名 合計 93 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 地域に伝わる伝統芸能「獅子舞」の継承活動の推進

① 獅子舞保存会の方からの指導と6年生から4年生への継承

校区の小栗山不動院に約350年前から伝わる獅子舞を平成8年度から学校の教育活動に取り入れ、19年目である。小栗山の獅子舞保存会の方から指導を受け、笛、太鼓、獅子舞、神楽舞の技術を学んでいる。6年生は、秋になると4年生に学んだことを伝える。指導者や先輩から学んできたことを自分なりに工夫して教え、引き継いでいる。

② 獅子舞の調べ学習と全校で学ぶ「獅子の日」の実施

4年生以上は、総合的な学習の時間を中心に、獅子舞の歴史や継承の様子、獅子舞保存会の方の思いなどを調べ、伝統芸能の意味とその継承の大切さを学び、地域に伝える活動を行った。年2回「獅子の日」を設定して、全校で獅子舞について学んだ。獅子舞の歴史や言われを伝えたり、笛、太鼓、獅子に直接触れたりする獅子舞体験を通して、全校児童が獅子舞に関わる取組を大切にしている。今年度は、5年生が獅子舞の継承「20年目に向けて」をテーマに歴史や過去の活動の様子を発表し、全校に伝えた。保護者からも見てもらった。

③ 伝統を受け継ぎ、県内外へ発信

次のような発表の場を通して、県内外に獅子舞の伝統の素晴らしさを伝えている。

小栗山不動院の大祭(8月)、新潟県主催新潟文化祭の「伝統芸能を継承する子どもの祭典…伝統連々祭」(10月 新潟県民会館)、地域コミュニティの「ほっと新潟フェスティバル」(10月)、それ以外にも見附市内の大平園等の福祉施設などで披露している。

2 学校の森や花栽培を中核とする自然を生かした体験活動

① 若葉スターズ活動(全校縦割り班活動)による花の世話

子どもたちは登校すると、玄関に入る前に花壇に立ち寄り、若葉スターズ班で育てている花や全校で育てている花と関わっている。花の水やりなどの世話はもちろん、花を笑顔でじっと見るなど愛情をもって関わっている。花の世話はわかばスターズ班や環境委員会など、子どもたちの主体的な取組を大切にしている。

② 「いこいの森」を生かした体験活動

学校の森=「いこいの森」は、子どもたちの遊び場である。森の中を走り回ったり、木登りをしたり、落ち葉や木の実を使って遊んだり、自然に親しみながら楽しんでいる。落ちている枝を集めて行う「基地」づくりは子どもたちの熱中する活動である。この「いこいの森」を使っての樹木や草花の観察、木の実、葉などを使った学習を理科や生活科、総合的な学習の時間などに関連させて行っている。今年度は、24年度制作したツリーハウスに、となりの木との間に橋をつくるなど、さらに充実した体験ができるようになった。

③ アースプロジェクトで「エコ活動」を地域でも

平成22年度から、アースプロジェクトとして、グラウンドの芝生化、グリーンカーテンの設置、太陽光パネルの活用など、緑化、環境教育を積極的に行

ってきた。学校だけでなく、保護者、地域を巻き込んだ活動を展開した。例えば、市役所の市民生活課環境係の方から出前授業をしてもらった。授業を受けた環境委員会の子どもたちが、そこで学んだことを5、6年生に授業をして伝えたり、全校朝会で発表したりした。また、PTAでは毎学期「エコウイーク」を設定し、家族で節約や節電など、環境に優しい取組を行っている。PTA主催の文化祭バザーでも、「割り箸」から「箸」に変えるなど、学校だけでなく、地域と協力してエコ活動に取り組んでいる。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）